



島根の紅葉スポット特集

行楽の秋となりました！鱗雲が浮かぶ秋空の下、もみじ狩りに出かけてみましょう。



1

清水寺 HIYOMIZUdera

587年に開かれた古刹です。端光山にある境内は約16万㎡と広大で、秋になるとカエデが深紅に色付き、山陰唯一の三重塔を囲む紅葉が美しいコントラストを演出します。また、その三重塔からの眺めも絶景。



2

三瓶山 Mt. SANBE

三瓶山は男三瓶山、女三瓶山、子三瓶山など6つの峰が環状に連なる山です。特に男三瓶山から女三瓶山に囲まれたくぼ地「室ノ内」側斜面には美しいブナノ紅葉で彩られ、雄大な一大パノラマが見られます。



3

匹見峡 HIHIMIHYO

4エリアからなる匹見峡は、約1kmの渓谷が続く前匹見、滝も望める奥匹見、4kmの美しい渓谷景勝地の表匹見、荒々しい峡谷の裏匹見があり、エリアごとに褐色や黄色に染まる紅葉と奇岩、溪流の自然美が楽しめます。

エリアごとに魅せる様々な景色!!

POINT
見頃時期▶11月中旬～12月上旬

POINT
見頃時期▶10月下旬～11月上旬

POINT
見頃時期▶10月下旬～11月中旬

おしなみーもくん 紅葉の仕組み

③ どうして葉の色が変わるの？

① ほとんどの葉の中には緑色の素「クロロフィル」と黄色の素「カロチノイド」、それから葉で作られた栄養の糖が含まれているんだ！夏までの葉にはこのクロロフィルがとても多く含まれていて、カロチノイドを隠れているから緑色に見えるんだよ。秋に向けて寒くなると、クロロフィルが分解されて隠れていたカロチノイドが現れるから、葉が黄色く見えるんだね。赤色になる葉は、葉に溜まった糖が日光で分解されることによって、赤色の素「アントシアニン」が作られるから、葉っぱが赤くなるんだ。どんな風に紅葉するかは、その年の天気や温度差に左右されるから、同じ木、同じ場所でも毎年印象が変わることもあるよ。

● クロロフィル ■ アントシアニン ◆ カロチノイド



山のおかげSummerの報告

8月11日(土)の山の日に島根県雲南市吉田町にて「山のおかげSUMMER」が開催され、県内から集まった親子連れ約100人が山林の伐採体験や木工教室を行いました。また、ヤマメなどの魚を捕まえる川遊びや吉田町産の地鶏を食べるBBQ大会も行われ、参加したごどもたちは、自然豊かな山を満喫しました。

水と緑の森づくり事業では、会場となったBBQ大会の広場にブースを設け、水と緑の森づくり事業4K動画やパネルを使って本事業をPRしました。また、みーもくんもイベントに参加してみーも通信を配布するなどのPR活動を手伝ってまいりました。参加したごどもたちは、「山のことかわかってよかった」、「面白かった」と自然の大切さを楽しく学びました。



紅葉を楽しむために 山の注意点!!

美しい山の中にも危険な生き物がいます。肌に触れたり刺激しないよう、長そで、長ズボンを着用するなど、服装を工夫して安全に楽しもう!

かぶれる植物



ツタウルシ

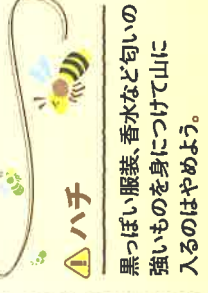
3枚の葉を持つツルに注意!!



ヤマウルシ

足元の高さで森のように広がる植物に注意!!

キケンな虫



ハチ

黒っぽい服装、香水など匂いの強いものを身につけて山に入るのはやめよう。

マダニ

咬まれたら無理に取り払わず、すぐに病院に行こう。

6 9 0 8 5 0 1

Post card

島根県松江市野宮1柳寺
島根県松江市野宮1柳寺
水と緑の森づくり情報誌
「みーも通信」発行

〒
お各都
里別
番
号

切手をお貼り
ください

〒
お各都
里別
番
号

1、あなたは「水と緑の森づくり誌」について知っていましたか?
□知っていた □知らなかった

2、「水と緑の森づくり誌」をどんなことに使っていますか?
アンケート

私たちの生活を守る森を育てる！ ～「再生の森事業」のご紹介～

再生の森事業は、10年以上手入れが行われず荒廃した樹齢36年生以上の人工林に対し、水源林などの森林の持つ様々な公益的機能を再生させるため、不要木の伐採（間伐）などを支援する事業です。

人工林はどうして 手入れ（間伐）が必要なの？

長期間手入れをしないと・・・

A スギやヒノキの人工林は、おもに木材生産を目的として人工的に造成された森林で利用できなくなった木が材として40～50年以上に成長するため、木の生育状況や森林全体の状況に応じた手入れを続けていくことが必要です。

A 手入れをしないまま長年放置された人工林は、木々が込み合っており光が遮られるため下草が生えず、木も細長い形になり、風や雪の被害を受けやすくなります。このような森に雨が降ると、表土が流出して土砂災害の危険が高まるだけでなく、河川や海への流出が生態系にも悪影響を及ぼします。

“人工林は”
ほったらかしでは
自然に還らないんだね

そのため

「再生の森事業」では、このような手入れの遅れた人工林で不要木伐採などの作業を実施し、残した木の成長を促すとともに、森林内に光を入れることで、下草や低木の豊かな林内へと誘導し、自然災害に強く、水を蓄える豊かで健全な森へと再生させることを目的としています。

県では、再生の森事業実施にあたり、その経費について支援を行っており、平成17年度からの13年間で約9,000haの森林が再生されました。

将来の 健全な森林 (イメージ)

水を育む機能が
高い森林

大きさまざまな木が生えている

下草が生えている

太陽の光が
地面に届く

低木（後継樹）が
生えている

土壌が発達している

針葉樹と広葉樹が
混じっている



「再生の森事業」により、放置され、暗く湿み合っていた林の木の間引いた。

○日光が地面にまで当たるようになったため、下草がよく茂るようになった。

○残された木の葉の成長も旺盛になった。

10年後

H20年度施工時
(間伐後)

H30年度現在
(健全な森林へ)

全国植樹祭速報 NEWS

『木でつながろう 人と森との縁(えにし)の輪』

第71回全国植樹祭
大会シンボルマークが
決定しました!!

全国から応募のあった821点の中から審査し決定しました。
【選定理由】
・島根らしさを感じさせる要素がバ
ランス良く配置され、親しみやすい
作品となっている
・大会テーマ「木でつながろう 人と森
との縁(えにし)の輪」がよく表現さ
れている
・シンボルマークとしての完成度が
高く、造形的によくまとまっている



作者/松浦 康友さん(島根県出雲市)

森づくりイベント情報 MORIUKHURI EVENT

秋の里山でキノコ狩り!

10月14日(日) 10:00～15:00
ふるさと森林公園森林学習展示館
参加費/500円 定員/30名

紅葉の指谷山ブナ林縦走

10月27日(土) 8:30～15:00
県民の森「木工室」
参加費/1000円 定員/20名

紅葉の等検境縦走

11月3日(土) 8:30～15:00
雲南市吉田総合センター(集合場所)
参加費/1000円 定員/20名

大パノラマ紅葉の琴引山縦走

11月10日(土) 8:30～15:00
飯南町Aコープ来島店駐車場(集合場所)
参加費/1000円 定員/20名

紅葉の森散策、燐火グリルと 鳥の塩こうじ焼きと焼きジャガイモ、 ヒノキの和紙作り

11月18日(日) 10:00～15:00
県民の森「木工室」
参加費/500円 定員/20名

晩秋の大万木山に登ろう

11月23日(金) 8:30～15:00
道の駅(みんばら)(集合場所)
参加費/500円 定員/20名

プレ里山クリスマス! 里山素材のリースと燐火で 焼くチキンソテーを作ろう!

11月25日(日) 10:00～15:00
ふるさと森林公園森林学習展示館
参加費/500円 定員/20名

もりふれ倶楽部 松江市浜通町佐々布3352ふるさと森林公園森林学習展示館 TEL/0852-66-3596
参加申し込み

読者プレゼント

ハガキに掲載しているアンケートにご回答いただいた方の中から

ブナくりぬき弁当箱

プレゼント!!

お名前・住所を必ずご記入の上
お送りください。HPからも応募できます。



抽選で
10名様

締め切り 11月30日 消印有効

木
の温
もりを
自然
素材
の
弁当
箱

PRESENT

水と緑の森づくり情報誌

みーも通信

54

2018.10月発行
秋号

(発行) 島根県農林水産部林業課水と緑と森づくりグループ

〒690-8501 島根県松江市殿町1番地 TEL.0852-22-6003 FAX.0852-26-2144

E-mail mizumori@pref.shimane.lg.jp http://www.pref.shimane.lg.jp/ringyo/

みーも通信は各市町村役場、主要公共施設、道の駅、主要なスーパー、コンビニ、銀行などに配布しています。

※いただいた個人情報には、抽選および発送用ならびに「水と緑の森づくり」の業務用(内部検討)以外には使用せず、ならびに通正に管理いたします。



みーもくん・みーもちゃんのぬりえ

ご応募頂いた塗り絵はホームページに掲載させていただきます。